

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

P

リストカメラ

2220*JA

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
未長くて愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取
扱いただきますようお願い申し上げます。

本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本誌に
記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。

なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

本機のお取り扱いで、万一、誤ったキー操作を行なっても、製品に障害を与える
ことは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使いこなしていただくために
も、ご納得のゆくまでお試しください。

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

VCCIについて

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制評議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。（左の例は感電注意）



⊘記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。（左の例は分解禁止）



●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

ご使用にあたって

自動車、オートバイなどの運転をしながら撮影したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。



また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため周囲の交通や路面状況に十分ご注意ください。

防水性について

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。



※ 本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

電池は扱い方を誤ると液もれによる周囲の汚損や破裂による火災・ケガの原因となりますので、次のことは必ずお守りください。



- 極性（+と-の向き）に注意して正しく入れてください。
- 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。



電池は小さなお子様の手の届かないところへ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。



- ① 金属・皮革に対するアレルギー
 - ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
 - ③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
 - 「抗菌バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
 - 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくともサビ易くなります。



分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



⚠️ 注意

使用禁止場所での撮影

航空機の中など、使用が制限されている場所では使用しないでください。事故の原因となることがあります。



ご使用にあたって

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。



幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。



時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。



データ控えを作ってください

本機への物理的な損傷や事故などにより、撮影した内容が消失することがあります。本機で撮影した内容は、コンピュータに転送してバックアップとして保管することをお勧めします。



お使いになる前に

■ オート・ディスプレイ・オフ機能

電力消費をおさえるためと、液晶画面の焼き付きをおさえるために、すべてのモードで以下のとき、自動的に表示を消す機能です。

- 約 60 分間時計を動かさなかったとき。

表示を点灯させるには、Ⓢ ボタンを押します。
時刻モードに戻り、時刻とカレンダーを表示します。



本書では、表示例を見やすくするために、ドット表示を使用しておりませんので、表示の大きさや表示位置が多少異なることがあります。

目次

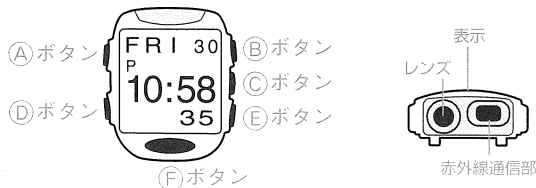
安全上のご注意	1
お使いになる前に	5
操作のしくみ	8
モード切り替え	10
撮影のしかた	12
撮影の基本操作	12
撮影上のご注意	13
画像を見る（ワンタッチビジュアルDB）	14
画像を見る（ビジュアルDBモード）	15
画像を削除する	17
メモを入力する	20
撮影のための調整	23
撮影パターン切り替え	25
コントラスト設定	28
アラーム・時報の使い方	29
アラーム時刻のセット	29
アラーム・時報のオン/オフ	31
タイマーの使い方	32
計測のしかた	32
タイマー時間のセット	33
ストップウォッチの使い方	34
計測のしかた	34

通信機能の使い方	35
時計同士の通信	36
時刻・カレンダーの合わせ方	40
秒の合わせ方	40
時刻・カレンダーの合わせ方	41
製品仕様	44
電源について	46
最初の電池	46
電池の消耗	46
電池交換のご注意	47
電池交換のしかた	48
ご使用上の注意	50
お手入れについて	51

操作のしくみ

時刻モードまたは他のモード（通信モードを除く）で **F** ボタンを約 0.1 秒間押すと、撮影モードに切り替わります。

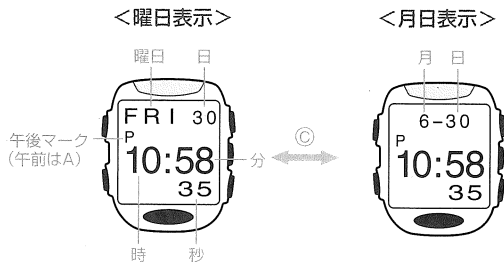
時刻モード



- A ボタン：約 1 秒間押し続けると時刻セットに切り替わります。
- B ボタン：ワンタッチビジュアルDBに切り替わります。
- C ボタン：曜日表示と月日表示が切り替わります。
- D ボタン：各種機能モードに切り替わります。
- E ボタン：ワンタッチビジュアルDBに切り替わります。
- F ボタン：約 0.1 秒間押すと、撮影モードに切り替わります。

●表示の見方

時刻モードで **C** ボタンを押すことに、表示が切り替わります。

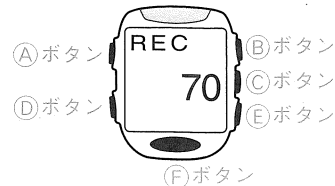


操作のしくみ

撮影した画像を見たり、アラーム・タイマーのセット、ストップウォッチを使うモードへの切り替え方は 10 ページをご覧ください。

撮影モード

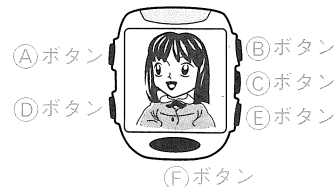
P-12



- A ボタン：室内光の周波数に合わせて切り替えます。
 - B ボタン：画像の明るさ調整ができます。（暗く）
 - C ボタン：撮影パターンが切り替わります。
 - D ボタン：ビジュアルDBモードに切り替わります。
 - E ボタン：画像の明るさ調整ができます。（明るく）
 - F ボタン：シャッターがきれます。
- ※撮影モードで約1分経過すると自動的にビジュアルDBモードに替わります。

ワンタッチビジュアルDBモード

P-14



- A ボタン：コントラスト調整に切り替わります。
 - B ボタン：撮影した画像を選びます。（戻し）
 - C ボタン：押し続けている間、撮影日時やメモを表示します。
 - D ボタン：時刻モードの表示に戻ります。
 - E ボタン：撮影した画像を選びます。（送り）
 - F ボタン：約 1 秒間押し続けると、撮影モードに切り替わります。
- ※何もボタン操作をしないと、約 15 秒後時刻モードに戻ります。

■モード切り替え

① ボタンを押すごとに以下の順でモードが切り替わります。

時刻モード



通信モード

モードマーク



- ② ボタン：パソコン選択
- ③ ボタン：時刻モードへ
- ④ ボタン：時計選択
- ⑤ ボタン：選択項目の決定

P-35



ストップウォッチモード

モードマーク



- ⑥ ボタン：スプリット/リセット
- ⑦ ボタン：通信モードへ
- ⑧ ボタン：スタート/ストップ
- ⑨ ボタン：約0.1秒間押しすと撮影モードへ

P-34

ビジュアルDBモードと通信モードで何もボタン操作をしないと、約2分後自動的に時刻モードに戻ります。

ビジュアルDBモード

モードマーク



- ① ボタン：約1秒間押し続けるとセットメニュー
- ② ボタン：画像選択（戻し）
- ③ ボタン：撮影日時やメモ表示切り替え
- ④ ボタン：アラームモードへ
- ⑤ ボタン：画像選択（送り）
- ⑥ ボタン：約0.1秒間押しすと撮影モードへ

P-15



アラームモード

モードマーク



- ① ボタン：約1秒間押し続けるとアラーム時刻セット
 - ② ボタン：アラーム・時報選択（戻し）
 - ③ ボタン：オン/オフ
 - ④ ボタン：タイマーモードへ
 - ⑤ ボタン：アラーム・時報選択（送り）
 - ⑥ ボタン：約0.1秒間押しすと撮影モードへ
- ※モードマークは「AL1」～「AL2」、「SIG」があります。

P-29



タイマーモード

モードマーク



- ① ボタン：約1秒間押し続けるとタイマー時間セット
- ② ボタン：リセット
- ③ ボタン：ストップウォッチモードへ
- ④ ボタン：スタート/ストップ
- ⑤ ボタン：約0.1秒間押しすと撮影モードへ

P-32

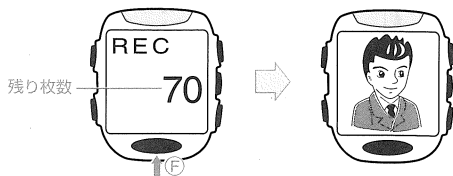
■ 撮影の基本操作

1. 撮影モードに切り替える

通信モード以外のときに **Ⓢ** ボタンを約 0.1 秒間押します。

⇒ 残り枚数を約 1 秒間表示後、被写体が写ります。

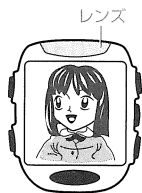
※残り枚数が0で撮影できないときは、「FULL」と表示して撮影モードに切り替わりません。このようなときは、不要な画像を削除してから撮影してください。



2. 被写体にレンズを向ける

時計上部にあるレンズを被写体に向けます。

⇒ 表示を見ながら調整してください。



3. 撮影する

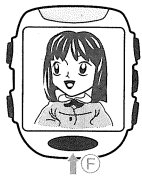
Ⓢ ボタン (シャッター) を押します。

⇒ 撮影した画像をメモリーし、約 2 秒間撮影した画像を表示します。

※撮影画像表示中のボタン操作はできません。

※撮影後の画像データは撮影日時の古い順に並びます。

● 撮影モードでは約 1 分後、ビジュアルDBモードに切り替わります。



■ 撮影上のご注意

- レンズを指でふさがないようにご注意ください。
- 手ぶれをおこさないように、シャッター (**Ⓢ** ボタン) は静かに押してください。
- 暗い場所では写りが悪くなる場合がありますので、日中はなるべく屋外で、夜間にはなるべく照明の明るい屋内で撮影することをお勧めします。

● 撮影インターバル

撮影モードから他のモードに切り替えたあとは、電池電圧の安定保持のため、撮影モードにしていた時間 (最大 1 分) と同じ時間だけ撮影休止状態となり、撮影モードに切り替えられません。

※休止時間は最大で 60 秒までです。

例) 撮影モードでの時間 = 20 秒 ⇒ 休止時間 = 20 秒

撮影休止中に撮影モードに切り替えようとすると、「WAIT」表示と共に残り時間を表示します。



★ 撮影モードおよびワンタッチビジュアルDB、ビジュアルDBモード、通信モードではアラーム・時報・タイマーの電子音は鳴りません。

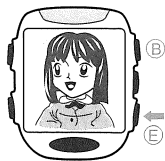
※ワンタッチビジュアルDBとビジュアルDBモードではアラーム・タイマーの報音時間分に“ALM”または“TMR”と表示します。

■ 画像を見る ~ワンタッチビジュアルDB~

1. ワンタッチビジュアルDBに切り替える

時刻モードのときに **ⓐ** ボタンまたは **ⓑ** ボタンを押します。

→ 前回最後に見た画像が表示されます。



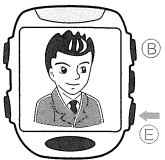
2. 画像を選ぶ

ⓑ ボタンまたは **ⓐ** ボタンを押します。

→ **ⓑ** ボタンを押すごとに1つずつ進み、**ⓐ** ボタンを押すことに戻ります。

※押し続けると早送りができます。

※画像データは、メモ (20 ページ参照) が入力されているときはメモ順に、メモが入力されていないときは撮影日時の古い順に並んでいます。



3. メモ表示に切り替える

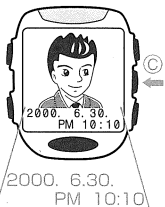
ⓐ ボタンを押し続けます。

→ 押し続けている間撮影日時を表示します。

※メモが入力されているときは、押し続けている間メモと撮影日時を表示します。

※メモ表示画像が暗くなることがあります。

※時刻は基本時計を24時間制にしているときは、24時間制で表示されます。



4. 時刻モードに戻す

ⓐ ボタンを押します。

● ワンタッチビジュアルDBで何もボタン操作をしないと、約15秒後時刻モードに戻ります。

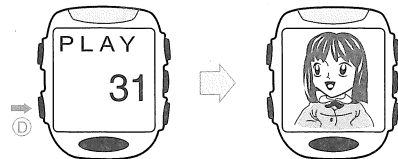


■ 画像を見る ~ビジュアルDBモード~

1. ビジュアルDBモードに切り替える

撮影モードおよび時刻モードのときに **ⓐ** ボタンを押します。

→ 前回最後に見た画像または撮影した直後の画像が表示されます。



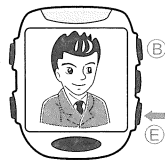
2. 画像を選ぶ

ⓑ ボタンまたは **ⓐ** ボタンを押します。

→ **ⓑ** ボタンを押すごとに1つずつ進み、**ⓐ** ボタンを押すことに戻ります。

※押し続けると早送りができます。

※画像データは、メモ (20 ページ参照) が入力されているときはメモ順に、メモが入力されていないときは撮影日時の古い順に並んでいます。



3. メモ表示に切り替える

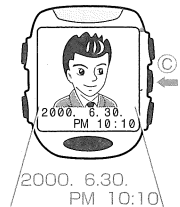
ⓐ ボタンを押します。

→ 押すごとに画像のみと画像+撮影日時表示が切り替わります。

※メモが入力されているときは、メモと撮影日時表示に切り替わります。

※メモ表示画像が暗くなることがあります。

※メモが表示されているときの早送りは多少遅くなります。



4. 時刻モードに戻す

ⓓ ボタンを5回押します。

※ビジュアルDBモードで何もボタン操作をしないと、約2分後時刻モードに戻ります。

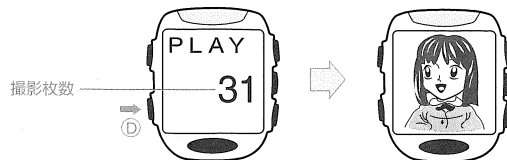


■ 画像を削除する

1. ビジュアルDBモードに切り替える

時刻モードのときに ⓓ ボタンを1回押します。

→撮影枚数を約1秒間表示後、前回最後に見た画像が表示されます。



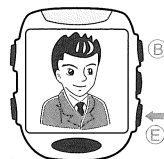
2. 画像を選ぶ

ⓔ ボタンまたは ⓑ ボタンを押します。

→ ⓔ ボタンを押すごとに1つずつ進み、ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※押し続けると早送りができます。

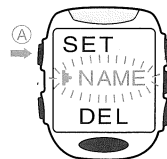
※すべての画像を削除する場合は、選ばなくてもかまいません。



3. セットメニューを開く

Ⓐ ボタンを約1秒間押し続けます。

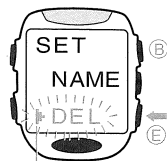
※「NAME」はメモ入力へ、「DEL」は削除へ進みます。



4. 削除を選ぶ

Ⓔ ボタンを押します。

→ Ⓔ ボタンを押して「DEL」に、Ⓕ ボタンを押して「NAME」にカーソルを合わせます。



カーソル

5. 削除メニューを開く

Ⓖ ボタンを押します。

※「ALL」は全画像削除へ、「PAGE」は選択画像のみの削除へ進みます。

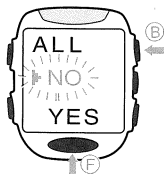


6. 削除方法を選ぶ

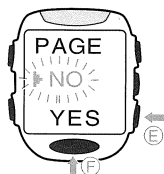
Ⓔ ボタンまたは Ⓕ ボタンを押してから、Ⓖ ボタンを押します。

→ Ⓔ ボタンを押して「PAGE」に、Ⓕ ボタンを押して「ALL」にカーソルを合わせ、Ⓖ ボタンを押します。

〈全画像削除〉



〈選択画像削除〉



7. 削除する

Ⓔ ボタンまたは Ⓕ ボタンを押してから Ⓖ ボタンを押します。

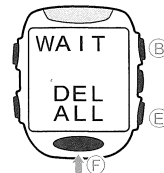
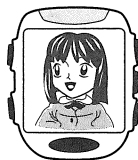
→ Ⓔ ボタンを押して「YES」に、Ⓕ ボタンを押して「NO」にカーソルを合わせ、Ⓖ ボタンを押します。

〈選択画像のみの場合〉

1つ前の画像が表示されます。

〈全画像の場合〉

「WAIT」と表示後「EMPTY」表示になります。



- 途中で削除をやめるときは、Ⓐ ボタンを押します。
- 削除後、新たに撮影するときはⒻ ボタンを約0.1秒間押し続けて撮影モードに切り替えます。
- 時刻モードに戻すには、Ⓓ ボタンを押します。
- 画像削除状態で何もボタン操作をしないと、約2分後ビジュアルDBモードに戻ります。

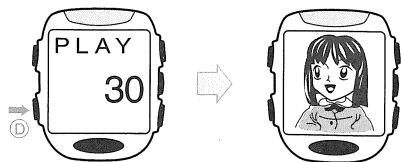
■メモを入力する

撮影した画像に、アルファベット、数字、記号などのメモ（24文字以内）をつけることができます。

1. ビジュアルDBモードに切り替える

時刻モードのときに **D** ボタンを1回押します。

→撮影枚数を約1秒間表示後、前回最後に見た画像が表示されます。

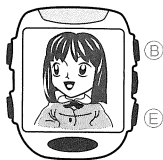


2. 画像を選ぶ

E ボタンまたは **B** ボタンを押します。

→ **E** ボタンを押すごとに1つずつ進み、**B** ボタンを押すごとに戻ります。

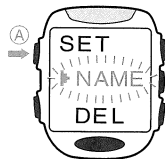
※押し続けると早送りができます。



3. セットメニューを開く

A ボタンを約1秒間押し続けます。

※「NAME」はメモ入力へ、「DEL」は削除へ進みます。



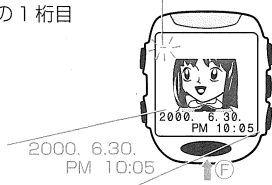
4. 「NAME」を選ぶ

F ボタンを押します。

→表示窓下部に撮影日時が表示され、上部の1桁目で文字カーソルが点滅します。

※点滅箇所に入力できます。

文字カーソル



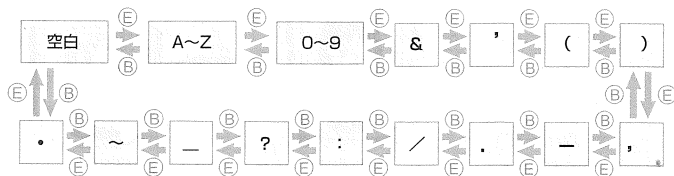
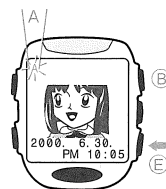
5. 文字を入力する

E ボタンまたは **B** ボタンを押します。

→ **E** ボタンを押すごとに以下の順に1つずつ進み、

B ボタンを押すごとに戻ります。

※押し続けると早送りができます。

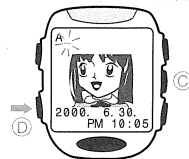


6. 入力箇所を進める

D ボタンを押します。

→点滅箇所（入力箇所）が次の桁に進みます。

※ **C** ボタンを押すと前の桁に戻ります。



①または② ボタンを押して点滅箇所を移動させ、③または④ ボタンを押して入力する操作を繰り返して名前や電話番号等を入力します。

7. セットを終わる

⑤ または ⑥ ボタンを押します。

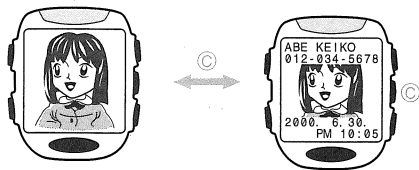
→ ソート (WAIT SORT) 後、点滅が止まります。



※メモの入力状態で表示を点滅させたまま約2分すると、自動的に点滅が止まります。

● メモ表示切り替え

メモを入力したときは、ワンタッチビジュアルDBでは③ ボタンを押し続けている間、ビジュアルDBモードでは③ ボタンを押すごとに画像のみ表示と画像+メモ表示が切り替わります。



● メモ順のソート

メモが入力されているときは、メモの先頭2文字により自動的に並び替えられます。

並び替えられる順は「アルファベット→数字→記号」の順です。

※メモが入力されていないときは、撮影日時での古い順になります。

■ 撮影のための調整

● 室内光の周波数切り替え

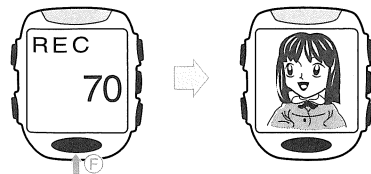
室内照明で撮影する場合、照明機器から発する微妙なちらつきを感知してしまうことがありますので、ご使用地域の発信周波数 (商用周波数) に切り替えてから撮影してください。

※ご使用地域の発信周波数は一般の家庭用電化製品と同じで、50Hz または 60Hz を選んでください。

1. 撮影モードに切り替える

通信モード以外のときに③ ボタンを約 0.1 秒間押します。

→ 残り枚数を約 1 秒間表示後、被写体が写ります。

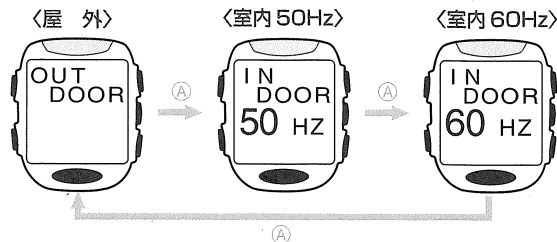


2. 周波数を切り替える

⑤ ボタンを押します。

→ 押すごとに以下の順に切り替わります。

※切り替え後、約 1 秒で被写体表示に戻ります。



● 一度切り替えた設定は、その撮影モードでのみ有効です。他のモードに切り替えてから撮影モードに戻したときは、最初の屋外に戻ります。

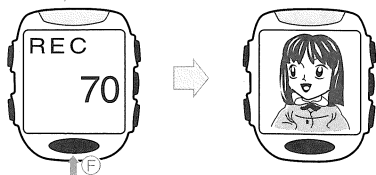
● 画像の明るさ切り替え

画像の明るさ（ブライトネス）は自動的に調整されますが、逆光での撮影や背景が暗い場合の撮影時など、15段階で補正することができます。

1. 撮影モードに切り替える

通信モード以外のときに **F** ボタンを約0.1秒間押します。

→ 残り枚数を約1秒間表示後、被写体が写ります。



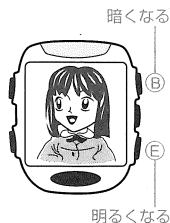
2. 明るさを切り替える

E ボタンまたは **B** ボタンを押します。

→ **E** ボタンを押すことに明るくなり、**B** ボタンを押すことに暗くなります。

※初期状態は15段階中の8段階です。

※ボタンを押してから明るさが切り替わるまで、少し時間がかかります。



- 一度切り替えた設定は、その撮影モードでのみ有効です。他のモードに切り替えてから撮影モードに戻したときは、自動調整に戻ります。

明るすぎたり、暗すぎたりする環境では、対応できない場合があります。

■ 撮影パターン切り替え

撮影パターンは通常の16階調画像の他に、ツーショット撮影、劇画調2階調画像があります。

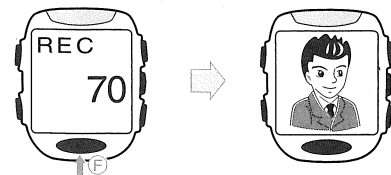
● ツーショット撮影

ツーショット撮影とは2人の撮影を別々に行ない、2人並んだ画像をつくる撮影方法です。

1. 撮影モードに切り替える

通信モード以外のときに **F** ボタンを約0.1秒間押します。

→ 残り枚数を約1秒間表示後、被写体が写ります。

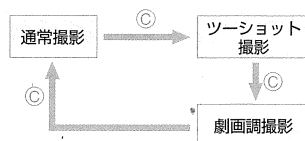


2. 撮影パターンを切り替える

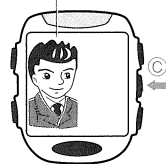
C ボタンを押します。

→ **C** ボタンを押すことに、以下の順に撮影パターンが切り替わります。

※ツーショット撮影に切り替わると、最初の画像は左半分用となります。



左半分に写る

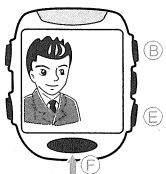


3. 1人目を撮影する

Ⓕ ボタンを押します。

⇒右半分に次の画像が写ります。

※Ⓕ ボタンを押す前に、Ⓖ・Ⓗ ボタンを押して画像の明るさを調整することができます。



4. 2人目を撮影する

2人目にレンズを向けて Ⓕ ボタンを押します。

⇒右半分に2人目の画像が写ります。

※Ⓕ ボタンを押す前に、Ⓖ・Ⓗ ボタンを押して画像の明るさを調整することができます。



- ツーショット撮影が終わるときは、Ⓖ ボタンを2回押して通常の撮影パターンに戻します。
- 他のモードに切り替えてから撮影モードに戻ってきたときは、通常の撮影パターンに戻ります。

左半分(1人目)の撮影だけで終了した場合は、その画像はメモリーされません。

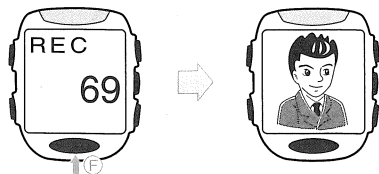
● 劇画調撮影

劇画調撮影は、モノクロ2階調で表現する撮影方法です。

1. 撮影モードに切り替える

通信モード以外のときに Ⓕ ボタンを約0.1秒間押します。

⇒残り枚数を約1秒間表示後、被写体が写ります。



2. 撮影パターンを切り替える

Ⓖ ボタンを2回押します。

⇒2階調画像で写ります。



3. 撮影する

Ⓕ ボタンを押します。

⇒2階調の画像で撮影されます。

※Ⓕ ボタンを押す前に、Ⓖ・Ⓗ ボタンを押して画像の明るさを調整することができます。



- 劇画調撮影が終わるときは、Ⓖ ボタンを1回押して通常の撮影パターンに戻します。
- 他のモードに切り替えてから撮影モードに戻ってきたときは、通常の撮影パターンに戻ります。

■ コントラスト設定

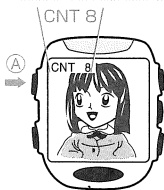
画像のコントラスト設定は、ワンタッチビジュアルDBで行ないます。
画像用のコントラストは1～15段階で設定できます。

※撮影した画像は120×120ドットで表示されるため、通常のコントラスト設定
(41ページ)とは別に行ないます。

1. コントラスト設定状態に切り替える

ワンタッチビジュアルDBで(A) ボタンを約
1秒間押し続けます。

→設定値が表示されます。

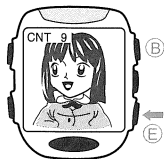


2. 設定する

(E) ボタンまたは(B) ボタンを押します。

→(E) ボタンを押すごとに1つずつ進み、(B) ボタンを
押すごとに戻ります。

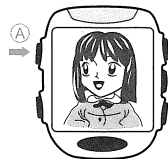
※1～15の間で設定できます。



3. 設定を終わる

(A) ボタンを押します。

→設定値が消えます。



アラーム・時報の使い方

アラームは1分単位でセットでき、セット時刻になると20秒間の電子音で知らせ
てくれます。アラームは5本あり、いずれも同じ使い方ができます。

また、毎正時(00分)に電子音で時報を鳴らすこともできます。

※撮影モード、ワンタッチビジュアルDB、ビジュアルDBモード、通信モードで
はアラーム・時報の電子音は鳴りません。

ワンタッチビジュアルDB、ビジュアルDBモードでは、報音のかわりに表示窓
左上で“ALM”マークが点滅表示します。

アラームモードに切り替えるには

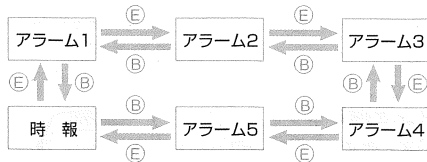
時刻モードのときに(D) ボタンを2回押します。

■ アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ

(E) ボタンまたは(B) ボタンを押します。

→押すごとに以下の順に切り替わります。



アラーム番号



2. セット状態にする

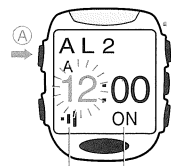
(A) ボタンを約1秒間押し続けます。

→時が点滅します。

※自動的にアラームがオンとなり、アラームオン
マークが点灯します。

※アラームオンマークは1～5のいずれかのア
ラームがオンのとき点灯します。

※“ON”表示は選ばれているアラーム番号がオン
のとき表示されます。



ON表示

アラームオンマーク

3. 時をセットする

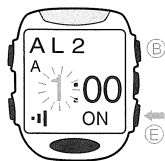
Ⓔ ボタンまたは Ⓕ ボタンを押します。

⇒ Ⓔ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓔ ボタンを押すごとに戻ります。

※押し続けると早送りができます。

※午前(A)/午後(P)にご注意ください。

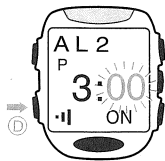
※時刻モードの現在時刻を24時間制表示にしているときは、アラームのセット時刻も24時間制表示になります。



4. 分のセットに切り替える

Ⓖ ボタンを押します。

⇒ 分が点滅します。

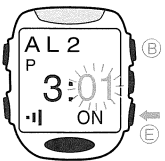


5. 分をセットする

Ⓔ ボタンまたは Ⓕ ボタンを押します。

⇒ Ⓔ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓔ ボタンを押すごとに戻ります。

※押し続けると早送りができます。



6. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します。

⇒ 点滅が止まります。



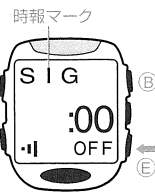
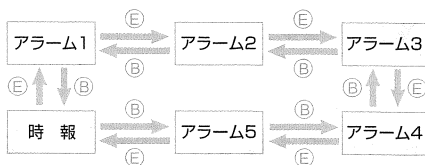
※セット状態で表示を点滅させたまま約2分すると、自動的に点滅が止まります。

■ アラーム・時報のオン/オフ

1. アラームまたは時報を選ぶ

Ⓔ ボタンまたは Ⓕ ボタンを押します。

⇒ 押すごとに以下の順に切り替わります。



2. オン/オフを切り替える

Ⓒ ボタンを押します。

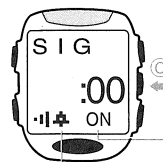
⇒ 押すごとに、アラームまたは時報のオン/オフが切り替わります。

<アラーム>



アラームオンマーク

<時報>



時報オンマーク

※アラームオンマークは1～5のいずれかのアラームがオンのとき点灯します。
 ※“ON”表示は選ばれているアラーム番号または時報がオンのとき表示されます。

● 鳴っているアラームを止めるには

いずれかのボタンを押します。

また、“ALM”の点滅表示を止めるときもいずれかのボタンを押します。

● デモアラーム

アラームモードで Ⓒ ボタンを押し続けると、押している間電子音が聞けます。

タイマーの使い方

タイマーは分単位で60分までセットでき、セットした時間を経過(タイムアップ)すると、10秒間の電子音が鳴ります。

※撮影モード、ワンタッチビジュアルDB、ビジュアルDBモード、通信モードではタイマーの電子音は鳴りません。

ワンタッチビジュアルDB、ビジュアルDBモードでは、報音のかわりに表示窓左上で“TMR”マークが点滅表示します。

タイマーモードに切り替えるには

時刻モードのときに **ⓐ** ボタンを3回押します。

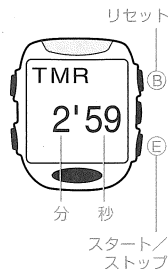
計測のしかた

● **ⓐ** ボタンを押すごとにスタート/ストップします。

※計測は1秒単位で行なわれます。

※ロスタイムがあるときは、計測中に **ⓐ** ボタンを押してストップ後、もう一度 **ⓐ** ボタンを押します。

● 計測がストップしているときに **ⓐ** ボタンを押すと、計測前の時間に戻ります。(リセット)



● 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押します。

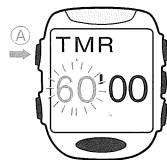
また、“TMR”の点滅表示を止めるときもいずれかのボタンを押します。

■ タイマー時間のセット

1. セット状態にする

ⓐ ボタンを約1秒間押し続けます。

⇒ 分が点滅します。

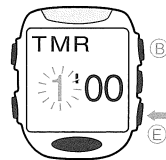


2. 分をセットする

ⓐ ボタンまたは **ⓑ** ボタンを押します。

⇒ **ⓐ** ボタンを押すごとに1つずつ進み、**ⓑ** ボタンを押すごとに戻ります。

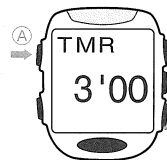
※押し続けると早送りができます。



3. セットを終わる

ⓐ ボタンを押します。

⇒ 点滅が止まります。



※セット状態で表示を点滅させたまま約2分すると、自動的に点滅が止まります。

ストップウォッチの使い方

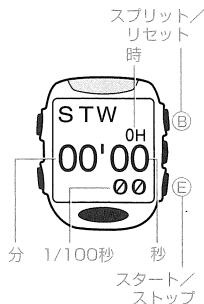
ストップウォッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測でき、以後、自動的に0に戻って計測を続けます。

ストップウォッチモードに切り替えるには

時刻モードのときに D ボタンを4回押します。

計測のしかた

- E ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。
- 計測がストップしているときに E ボタンを押すと、0時間00分00秒00(リセット表示)になります。
- 計測中に E ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリットタイム(途中経過時間)計測となります。



● 通常の計測



積算計測...

ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずに E ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測をはじめます。

● スプリットタイム計測



● 1着・2着同時計測



計測中に D ボタンを押してモードを切り替えても計測は続いています。

通信機能の使い方

通信機能は時計同士で画像データ交換をしたり、パソコンに画像データを送って管理したりする機能です。

なお、パソコンとのデータ通信を行なうには、赤外線アダプター〈PAD-2〉が必要です。

また、パソコンとのデータ通信のしかたは、赤外線アダプター〈PAD-2〉に付属のCD-ROMに納められている説明書をご覧ください。

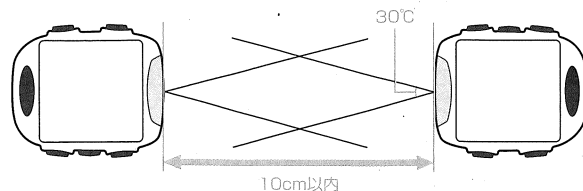
通信モードに切り替えるには

時刻モードのときに D ボタンを5回押します。

※通信モードで何もボタン操作をしないと、約2分後時刻モードに戻ります。

● 時計同士を合わせる

時計同士で通信するときは、以下のことにご注意ください。



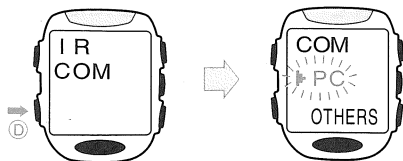
- 通信できる距離は最大約10cmで、角度は最大約30度です。
※通信距離が近すぎても、うまく通信できないことがあります。
- 通信角度が15度以上あるときは、通信距離が極端に短くなります。

■ 時計同士のデータ通信

1. 通信モードに切り替える

時刻モードのときに **ⓐ** ボタンを5回押します。

⇒モード表示を約1秒間表示後、通信メニューが表示されます。

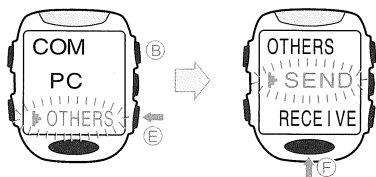


2. 時計同士のモードに切り替える

ⓑ ボタンを押して「PC」、または **ⓒ** ボタンを押して「OTHERS」を選び、**ⓓ** ボタンを押します。

⇒時計同士の送信/受信メニューになります。

※通信モードに切り替えた直後は「PC」になりますので、**ⓓ** ボタンを押した後のみ **ⓑ** ボタンを押します。



3. 送信または受信を選ぶ

ⓔ ボタンを押して「SEND」(送信)、または **ⓕ** ボタンを押して「RECEIVE」(受信)を選び、**ⓓ** ボタンを押します。

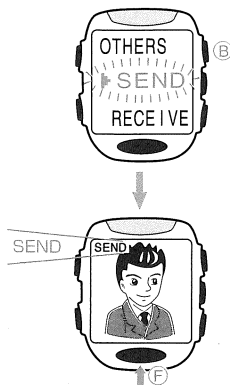
⇒送信のときは画像選択に、受信のときは受信待機状態になります。

※最初は「SEND」になりますので、**ⓕ** ボタンを押した後のみ **ⓔ** ボタンを押します。

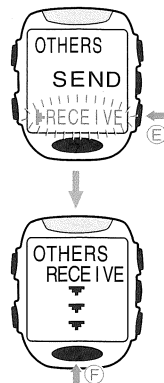
※通信を途中でやめるときは **ⓐ** ボタンを押します。

また、**ⓐ** ボタンを押すと直接時刻モードに戻ります。

〈送信の場合〉
画像選択になります。



〈受信の場合〉
受信待機状態になります。



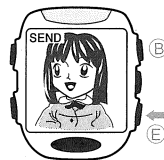
4. 送信する画像を選ぶ

送信のときは **ⓕ** ボタンまたは **ⓑ** ボタンを押して、画像を選びます。

⇒**ⓕ** ボタンを押すごとに1つずつ進み、**ⓑ** ボタンを押すことに戻ります。

※押し続けると早送りができます。

※時計同士の送信は1枚ずつとなります。



5. 送信する

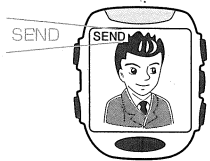
時計同士を向け合い、送信側は **ⓕ** ボタンを押します。

→ 相手の時計と同調すると、通信が開始されます。

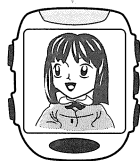
～送信の場合のみ～



〈送信の場合〉
画像選択（操作4）に戻ります。



〈受信の場合〉
受信選択（操作3）に戻ります。



送信終了後に **ⓓ** ボタンを押すと、時刻モードに戻ります。

※受信した画像データは、通信モード解除後にソート順に並べ替えられます。

●通信エラーについて

送信側：OTHERS SEND ERROR

受信側：OTHERS RECEIVE ERROR

☞ 何らかの原因で送信または受信が失敗しました。
もう一度最初からやり直してください。

受信側：PLAY 100 FULL

☞ 受信側のメモリーが一杯です
不要なデータを削除してからやり直してください。

通信中：3つの三角マークが点滅

☞ 通信が切断されています。
時計同士をきちんと向き合わせてください。

通信中のご注意

- 通信できる距離は最大約10cmで、角度は最大約30度です。
- 通信距離が近すぎても、うまく通信できないことがあります。
- 通信角度が15度以上あるときは、通信距離が極端に短くなります。
- 通信中は時計を動かさないでください。
- 通信中は時計同士の間を遮らないようにしてください。
- 屋外などの明るい場所や窓際では通信できないことがあります。
※ 室内照度（蛍光灯下500ルクス程度）でお使いください。
- 時計本体の温度が高いときは、通信距離が短くなります。
- 通信している近くで別の赤外線通信が行なわれているときは、通信できないことがあります。
- 電池が消耗してくると通信距離が短くなります。
- 送信時の画像選択画面や受信時の待機状態では、約5分後自動的に通信を終了します。
ただし、通信中に約5分経過した場合はその通信後に終了します。

時刻・カレンダーの合わせ方

■ 秒の合わせ方～30秒以内の遅れ/進みの修正～
月に1度くらいこの「秒合わせ」を行なっていただくと、時計はいつも正確です。

1. 時刻セット状態に切り替える

時刻モードで(A) ボタンを約1秒間押し続けます。

⇒ 秒が点滅します。



2. 秒を合わせる

時報に合わせて(E) ボタンを押します。

⇒ 秒が00～29秒のときは切り捨てられ、30～59秒のときは1分繰り上がって「00秒」になります。

※時報は「時報サービス 電話117番」が便利です。



3. セットを終わる

(A) ボタンを押します。

⇒ 点滅が止まります。



※秒合わせで表示を点滅させたまま約2分すると、自動的に点滅が止まります。

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻・カレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

1. 時刻セット状態に切り替える

時刻モードで(A) ボタンを約1秒間押し続けます。

⇒ 秒が点滅します。

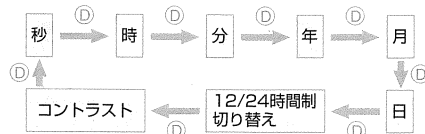


2. セット箇所を切り替える

(D) ボタンを押します。

⇒ 押すごとに点滅箇所が以下の順に移動します。

※点滅箇所がセット可能です。



3. セットする

(E) ボタンまたは(B) ボタンを押します。



㊦ ボタンを押してセットしたい箇所を点滅させ、㊥ ボタンまたは ㊧ ボタンを押してセットする操作を繰り返します。

●時・分・年・月・日・コントラストは、㊥ ボタンを押すごとに1つずつ進み、㊧ ボタンを押すごとに戻ります。

※押し続けると早送りができます。

※時のセットのとき、午前/午後 (P) および24時間制表示にご注意ください。

※年は西暦で2000～2039年までセットできます。

※曜日は年月日を合わせると自動的にセットできます。

※コントラストは画像以外の表示用で、1～7の間で設定できます。

●12/24時間制切り替えは、㊥ ボタンを押すごとに切り替わります。

4. セットを終わる

㊦ ボタンを押します。

→点滅が止まります。



※セット状態で表示を点滅させたまま約2分すると、自動的に点滅が止まります。

★カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

製品仕様

製品仕様

■時計機能

- 水晶発振周波数: 32,768Hz
精度: 平均月差±15秒以内
基本機能: 月・日・曜日・時・分・秒・午前(A)/午後(P)/24時間制表示
フルオートカレンダー (2000~2039年)
アラーム機能: セット単位=1分 電子音=20秒間
時報機能: 毎正時に2回電子音で報時
タイマー機能: セット単位=1分 セット範囲=60分
計測単位=1秒
通常計測、ロスタイム計測
タイムアップ電子音=10秒間
ストップウォッチ機能: 計測単位=1/100秒
計測範囲=23時間59分59秒99 (24時間計)
通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測
その他: 自動復帰機能、デモアラーム、12/24時間制表示切り替え

■カメラ機能

- 記録方式: 独自方式 (PC転送時はBMPおよびJPEGに変換)
記録媒体: 内蔵メモリー (1MB)
記録コマ数: 100枚
撮像素子: 1/14型白黒CMOSセンサー
(総画素数=28,000画素、有効画素数=25,344画素)
レンズ: F2.8固定、f=1.1mm
撮影可能距離: 30cm~∞
測光方式: 全画面平均方式
露出制御方式: ALC (光量制御) 方式
シャッター形式: 電子シャッター
シャッタースピード: 1/11~1/1660秒自動
モニター: 14,400ドット (120×120)、白黒16階調
表示サイズ=20×20mm
撮影モード: 通常撮影、劇画撮影、ツーショット合成撮影
赤外線通信機能: パソコンとの画像データ送受信、時計同士の画像データ送受信
データ転送速度=115,200bps

■共通機能

- 主要回路素子: 音叉型高性能水晶振動子、ワンチップCMOS-LSI
使用温度範囲: 0℃~40℃
使用電池: CR-2032 (電池別途販売)
電池寿命: 約6カ月

(1日あたり
撮影を60秒間、電子音20秒使用した場合)

電源について

最初の電池

- 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

電池の消耗

電池が消耗してくると、電池マークが点滅または点灯して一部の機能が使用できなくなりますので、速やかに新しい電池と交換してください。

- まず、電池マークが点滅し、次の機能が使用できなくなります。
 - ① カメラモードへの切り替え
 - ② モニターモードでのメモ入力や画像データの削除
 - ③ 通信機能
 - ④ アラーム、時報、タイマーの報知音（電子音）
- 電池マーク点滅が24時間以上経過した場合は電池マークが点灯し、上記に加えて次の機能が使用できなくなります。
 - ⑤ モニターモードでの画像データの表示
 - ⑥ ワンタッチモニター機能
- 電池の消耗により使用できない場合は、「LOW BATT」表示となります。

電池マーク



例) 通信モード



例) カメラモード



本機を使用したこと、および故障・修理・電池交換などによりデータが消えたり、変化したことで生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

電源について—電池交換のご注意

電池交換のご注意

- 電池はリチウム電池〈CR-2032〉1個を使用します。
- 電池はできるだけ「カシオ指定の電池」または同等品をご使用ください。
- 電池を交換するときは、ケースに付いた水や汗がケース内に入らないようにご注意ください。ケースの中が濡れたり湿気を帯びたときは、よく乾かしてから電池を入れてください。
- 古い電池を交換せずに入れたままにしておくと、故障の原因になります。
- 使用済み電池は不燃ゴミとして廃棄してください。（電池を分別廃棄しているところは、それに基づいて廃棄してください）
- お客様の電池交換が正常に行なわれなかった場合の防水不良につきましては、有償修理となります。十分にご注意ください。



警告

- 本機で使用しているボタン電池を取りはずした場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。
- 電池は小さなお子様の手の届かないところへ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- 電池は充電や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入しないでください。



注意

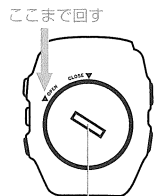
- 付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
- 電池の極性（⊕と⊖の向き）に注意して正しく入れてください。
- 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。
- 電池が液漏れを起こした場合は、液に触れず、すぐに拭き取ってください。

■ 電池交換のしかた

1. 電池ボタンをはずす

時計本体裏面にある電池ボタンのみぞにコインなどを入れて矢印の位置 (OPEN) まで回します。

コインなどで回すときは、無理に力を入れないでください。電池ボタンがこわれることがあります。

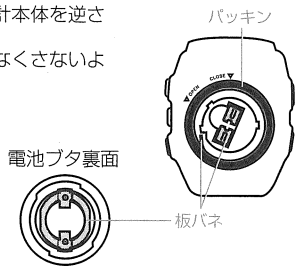


コインなどを入れる

2. 古い電池を取り出す

※電池が取り出しにくいときは、時計本体を逆さまにすると電池が出てきます。

※電池を取り出すときにパッキンをなくさないようにしてください。



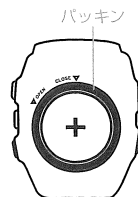
電池を取り出す際に板バネに触れますと、ケガや故障の原因になりますのでご注意ください。

3. 新しい電池を入れる

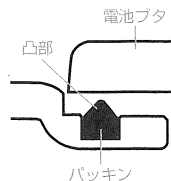
新しい電池の表裏を乾いた布で拭いてから、プラス (+) を上にして入れます。

※電池の表や裏をピンセットなどでつままないでください。電池がショートして危険です。

※パッキンが入っていることを確認してください。

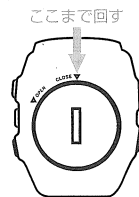


パッキンの汚れやゴミを取り除き、上下を確認して凸部が電池ボタン側になるように入れてください。



4. 電池ボタンをしめる

電池ボタンを乗せ、みぞにコインなどを入れ、少し押しながら矢印の位置 (CLOSE) まで回します。



● 電池交換後は

電池交換により、時刻・カレンダー、アラームセット時刻、タイマーセット時間はクリアーされます。

電池交換後は、時刻・カレンダーおよび必要なセットを行なってください。

※撮影した画像データは残ります。

ご使用上の注意

■ 防水性

● 表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンドайビング(素潜り)	×	×	○	○

※「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。

※ 専門的な潜水=スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。

● 表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないもの。防水構造になっておりませんので、多量の汗を発生する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

● 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。

● 防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。

● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

● 防水性を保つために定期的(2~3年を目安に)なパックン交換をおすすめします。

● 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)

● 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンドの状態、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■ バンド

● バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

● 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

● 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

■ 温度

● 自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。

● +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ ショック

● 通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因となります。

■ 磁気

● 時計機能には影響ありません。

● 静電気または磁性物質などの接触により、撮影された内容が消えることがあります。

■ 薬品類

● 水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■ 保管

● 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ 液晶パネルの交換について

● 液晶パネルは約7年を過ぎますと、数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

お手入れについて

■ お手入れのしかた

● 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

● 金属バンドは、時々、部分洗いをすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

● レンズ面が指紋やゴミなどで汚れていると、カメラ本体の性能が十分に発揮できませんので、レンズ面には触れないようにしてください。

● また、レンズ部の汚れは、ブローアでゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

■ お手入れを怠ると

● 「サビ」

- ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
 - ※ 汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

● 「劣化」

- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

● 「かぶれ」

- 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
- 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

- 故障、修理、電池消耗等に起因するデータの消失により生じた損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。特に、重要なデータは複数の記憶装置に保存することをおすすめします。
- 本書および本機使用により生じた損害および逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。